

令和3年2月吉日

保護者様

流山市立東小学校  
校長 永山俊介

## 令和2年度学校評価調査の結果について

余寒の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育について、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、保護者及び教職員による学校評価の結果を以下のようにまとめましたので、お知らせいたします。なお、数値は、「4：とてもそう思う」、「3：そう思う」、「2：あまりそう思わない」、「1：そう思わない」の4段階の回答数をそれぞれ合計し、全回答数で平均したものです。

### 1 学校について

項目	保護者		教職員	
	昨年度	今年度	昨年度	今年度
1 学校は、明確に目標を立てて指導しているか。	3.14	3.12	3.21	3.23
2 学校行事や活動は、児童にとって充実しているか。	3.35	2.94	3.36	3.50
3 学校の施設設備は整えられ、清潔な教育環境になっているか。	3.03	3.08	2.91	3.00
4 学校は、子どもたちの安心、安全に努めているか。	3.31	3.37	3.45	3.50

### 2 職員について

項目	保護者		教職員	
	昨年度	今年度	昨年度	今年度
1 教職員は、児童の学習・生徒指導(生徒指導・いじめ問題)に熱心に取り組んでいるか。	3.06	3.05	3.58	3.68
2 教職員は、わかりやすい授業作りに努めているか。	3.28	3.24	3.18	3.29
3 教職員は、保護者や地域の方々の相談や悩みごとなどに適切に応じているか。	3.16	3.13	3.30	3.30
4 学校は、児童一人ひとりの特性に応じた配慮や支援をしていると思いますか。	3.11	3.09	3.41	3.35
5 教職員は、児童のよさや気持ちを理解しているか。	3.26	3.26	3.15	3.26

### 3 地域・家庭との連携について

項目	保護者		教職員	
	昨年度	今年度	昨年度	今年度
1 学校は地域・家庭への連絡や情報提供を積極的に行っているか。	3.23	3.15	3.36	3.38
2 学校教育活動に、地域の環境や人材が活かされているか。	3.12	2.98	3.24	3.28
3 学校は、地域家庭と連携し、地域や家庭を大切にされた運営をしているか。	3.16	3.10	3.42	3.41

### 4 児童について

項目	保護者		教職員	
	昨年度	今年度	昨年度	今年度
1 児童は、明るく健康な小学校生活を送っているか。	3.28	3.41	3.36	3.48
2 児童は自らしっかりと授業に取り組んでいるか。	3.22	3.26	3.18	3.29
3 児童は学校や地域でマナーやルールをしっかりと守っているか。	3.09	3.10	2.76	3.00

## 5 児童の自己評価

項 目		昨年度	今年度
1	学校は楽しいですか。	3.41	3.42
2	先生は自分の話をよく聞いてくれますか。	3.52	3.53
3	授業中は、先生や友だちの話をしっかり聞いていますか。	3.48	3.50
4	授業の内容はよくわかりますか。	3.40	3.43
5	授業のとき、自分の考えを発表していますか。	2.95	2.90
6	机の中やロッカーなど、身のまわりのせいとんができていますか。	3.19	3.20
7	チャイムにあわせて行動していますか。(授業、休み時間、そうじなど)	3.36	3.34
8	自分から、あいさつをしていますか。	3.42	3.29
9	読書は好きですか。	3.28	3.36
10	自分からすすんであそんだり、運動したりしていますか。	3.40	3.27
11	家で毎日、べんきょうしていますか。(宿題もふくみます。)	3.59	3.68
12	家でお手伝いをしていますか。	3.15	3.12
13	学校やクラスのきまりややくそくをまもっていますか。	3.39	3.47
14	自分にはよいところがあると思いますか。	3.04	3.11
15	友だちとなかよくしていますか。	3.68	3.65
16	そうじをいっしょうけんめいしていますか。	3.57	3.45
17	相手の気持ちをかながえて、話したり、行動したりしていますか。	3.26	3.29

### 【学校評価への考察】

本年度は、新型コロナウイルス感染予防対応により、休校期間や6月からの分散登校からの学校生活スタートとなり、教育課程の変更が余儀なくされることとなりました。そのような状況下の中で、学校運営について評価をいただきました。各項目ごとに検証を行い、次年度に向け教職員一丸となり学校教育目標の達成に向けて取り組んでいきます。ご協力ありがとうございました。

#### 1 学校についての項目から

コロナ禍では、学校生活や教育課程に様々な制限がかかり、例年どおりの行事や取り組みが難しいことが多くありました。距離をとる、しゃべらない、歌わない、一堂に会さない、来校者を控えるなどの制限の中、子どもたちの気持ちを大切に、工夫して取り組んできましたが、保護者の方々には来校を制限するなど、満足にお伝えできない部分が多くありました。次年度は、子どもたちの活動が、少しでも多くお伝えできるように努力して参ります。

新型コロナウイルス感染予防対策において、学校内の施設整備や、清潔な教育環境の維持については保護者、職員ともに評価を得ました。PTAからの感性予防マスクや全児童への熱中症防止タオルの提供、全校を挙げての児童下校後の消毒作業、来校者における検温、手指消毒等の予防対策など様々な対応や対策が評価されたものと考えます。今後も継続して行っていきます。

裏面あり

## 2 職員についての項目から

令和2年度は、昨年度末からの休校のスタートであり、6月から学習が始まりました。2か月の学習の遅れを取り戻すため、カリキュラムを組み直し、教材や教具の工夫を行い、全職員でわかりやすい授業に努めてまいりました。保護者からも評価されています。また、学習面だけでなく、児童の生活、交友関係にも配慮し、教育相談にも時間をかけてきました。制限の多い生活で発散できていない子どもたちのストレスが、様々な形で出てきています。今後も一人一人に寄り添った指導をしていきます。

## 3 地域・家庭との連携についての項目から

かがやき評議会を始め、様々な地域との活動が制限されました。情報発信はホームページやメール、学校便りの発行を活用してきました。また、何度か試行的にリモートの授業参観も実施しました。保護者の方をはじめ来校を制限し、地域の方との顔をあわせての交流や取り組みができなかったことは、児童にとっても職員にとっても残念でなりません。今後も、様々な可能性を模索して、本校の教育活動の成果をお伝えしていきます。また、本校ホームページをさらに充実させるとともに、地域の方には安心メールの配信に任意登録していただきながら情報発信に努めて参ります。今後も地域とともに歩む学校づくりをめざしていきます。

## 4 児童についての項目から

児童には、新型コロナウイルス感染予防についての学習を丁寧に行いました。その結果、対応の趣旨を理解し、学習中は、友だちとの距離を保ちながら、グループで協働的な活動を進めています。また、手洗い、給食中のマナーの徹底など感染予防についての約束がしっかりと守られています。

また、地域の方々へのあいさつも、大きな声は出せなくても軽く会釈をするなどルールやマナーを守る児童が増えています。

## 5 児童の評価について

コロナ禍において、子どもたちの生活も様変わりしました。休校期間や分散登校など従来の教育課程が進められずに活動が制限される中、子どもたちは、感染予防に努めながら行動していました。コロナ禍で取り組めなかったことも多くありましたが、コロナ禍だから取り組めたこともあります。児童のアンケートにも反映されています。その中でも項目8「あいさつ」については、自分からしっかり挨拶をしようと取り組んで参りましたが、大きな声を出せない対応として目を合わせて会釈をするなどの指導をしており、子どもにとっては控えめな結果になったと考えられます。引き続き、子どもたちには、声の大きさではなく気持ちのこもった会釈などの挨拶をするように声かけをしていきます。

また、項目10「進んで遊び、運動」も、休み時間に密を避けるために校庭や体育館の割り当てを決めて対応をしてきたことで、今までのように思い切り体を動か



すことができなくなっていることや項目16「そうじ」は、児童が行う活動が限られたために達成感が得られなかったことが要因であると思います。

次年度は、内容に幅を持たせ工夫を行い活動を進めていくように努力します。一方で学校生活がコロナ禍の影響を受ける中でも、項目1～項目4では、「学校が楽しい」ことや学習活動に係わる項目では、例年と同等の結果が得られたことは評価すべきことだと捉えます。項目11「家庭学習」、項目9「読書」など、家庭で過ごす時間を有効的に活用したことがうかがえます。



大きく成果が見られたのは、項目14「自分によいところ」です。本校では、昨年度の学校評価を踏まえ、最重点課題のひとつとして「自己肯定感の向上」について取り組んできました。教師が声をかける、褒める機会を多く持ち、児童同士でも認め合う場をつくってきました。自信を持って生活できることは、次への活力になり、本校の「なかよく かしこく 元気よく」につながるものと考えます。具体的には、学校生活の中で、子どもを主役に達成感を味わう体験を取り入れ、具体的に褒める場面を増やす取り組みを行ってきました。数字的にはまだまだですが、今後も子どもたちと丁寧に向き合い全職員で取り組んでいきます。ご家庭でも、子どもたちに家族の一員として役割を担わせ、たくさん褒める場面を作ってください。

しかし、課題も見えてきました。項目5「授業中の発表」について、自分の意見を堂々と人に伝えることに課題があります。今後も更に児童の自己肯定感を高め、自分の意見や考えを人に伝えたり、発信したり、自信を持って生活できるよう引き続き支援していきます。

